

連合チームで西東京大会に臨む、都立青鳥特別支援学校（前列）と都立深沢（後列左4人）、松蔭大付属松蔭（同右2人）の選手たち＝8日、神宮球場で（浅井慶撮影）



# ともに「1勝」を

高校野球  
西東京大会

夏の甲子園出場をかけた、全国高校野球選手権東・西東京大会が八日、神宮球場（新宿区）で開幕した。開会式の入場行進には、知的障害のある生徒が通う東京都立青鳥特別支援学校（世田谷区）のベイスボール部員たちの姿があった。

（昆野夏子）『できた「重ね」面』

都内の特別支援学校としては初めての出場で、区内の松蔭大付属松蔭高と都立深沢高との連合チームで西東京大会に臨む。初戦は十日午後零時半、スリーポンドスタジアム八王子で松原高（世田谷区）と対戦。青鳥の選手の出番は限られそうだが、「1勝」という同じ目標を胸に気合十分だ。